

価値創造プロセス

4. 価値創造の成果

三井不動産グループは、2030年前後の「ありたい姿」を「産業デベロッパーとして社会の付加価値の創出に貢献」することと位置付けています。社会的価値と経済的価値の両方を創出し、三井不動産グループの持続的成長と企業価値向上につなげていきます。

経済的価値

持続的成長および
資本コストを上回る効率性の実現

株主への安定・継続的な
「利益還元」と「1株当たり価値の向上」

ROE

2024年度 8.0% ➡ 2026年度 8.5%以上 ➡ 2030年度前後 10%以上

親会社株主に帰属する当期純利益

2024年度 2,487億円 ➡ 2026年度 2,700億円以上

EPS成長率

※ 2023年度業績予想EPS:78.5円を起点とする。

2024年度 +13.7%/年 ➡ 2023～2030年度成長率 +8%以上/年 (CAGR)

総還元性向

2024年度 52.7% ➡ 2026年度まで 每期 50%以上

社会的価値

世界のイノベーション・産業発展への貢献
場とコミュニティの提供を通じ、さまざまな人々・企業の英知を結集させ、イノベーション創出・新産業の創造を加速。

感動体験の創出

魅力ある街づくりを進化させ、人々の心が感動であふれる、活力のある社会を実現。

社会課題の解決

- 街づくりやイノベーションを通じ、「働く・住まう・楽しむ・訪れる」人々に対し、さまざまな付加価値を創出。
- 気候変動への取り組みをはじめ、環境との共生に努め、地球規模での持続可能な社会の構築に貢献。

取り組みの一例

- これまで日本・米国で展開していた賃貸ラボ&オフィス事業を英国にも拡大  P.35
- 半導体産業を活性化させるオープンプラットフォーム、一般社団法人「RISE-A」設立  P.36

- スタジアム・アリーナ事業のさらなる拡大「LaLa arena TOKYO-BAY」「(仮称)名古屋アリーナ」  P.35
- 商業施設とスポーツ・エンターテインメントの連携を加速  P.101

- 2025年度よりTNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)の提言に基づいた情報開示を開始  P.112-114
- 街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定  P.62-66